

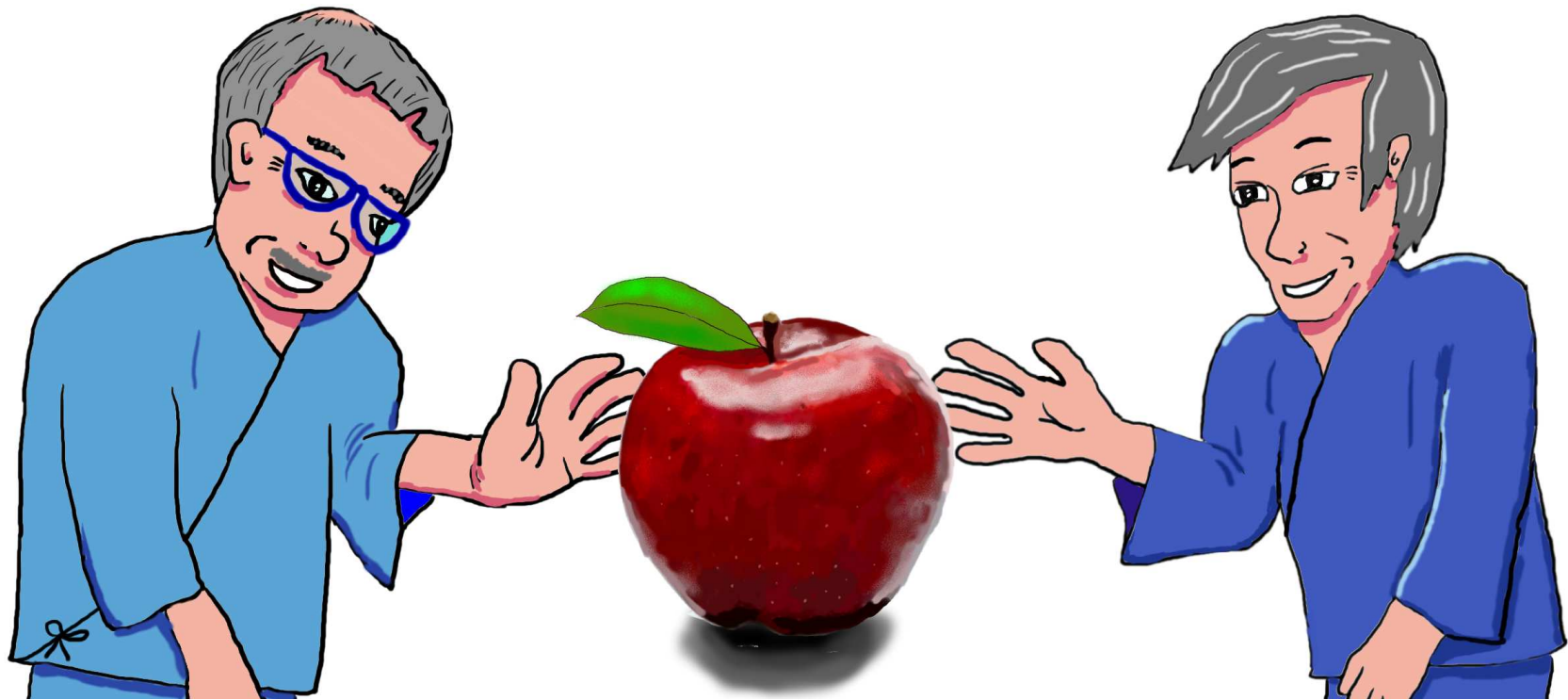
リンゴ異文化騒動記



東郷 潤

世界には様々な文化があります。文化が異なれば人の行動パターンも変わります。

たとえば「お腹が空いた人が二人。食べ物はリンゴ1つだけ」という状況を想像してみてください。



愛の文化

この二人は、愛の文化圏に属しています。そこでは愛と信頼の力を信じ、他人を思いやり、人と人との対立を可能な限り避けようとするのです。さあ、お腹を空かせた二人は、どんな行動を取るでしょう？





二人は相手にリンゴを食べさせるために、議論をします。お腹が空いていないわけではありません。愛を信じて、自分の欲求よりも相手の欲求を優先させようとしているのです。・・・いくら話しても、結論ができません。



仕方ない。半分ずつで分けよう。
リンゴが腐ってしまうから

分かったよ。
仕方がないね

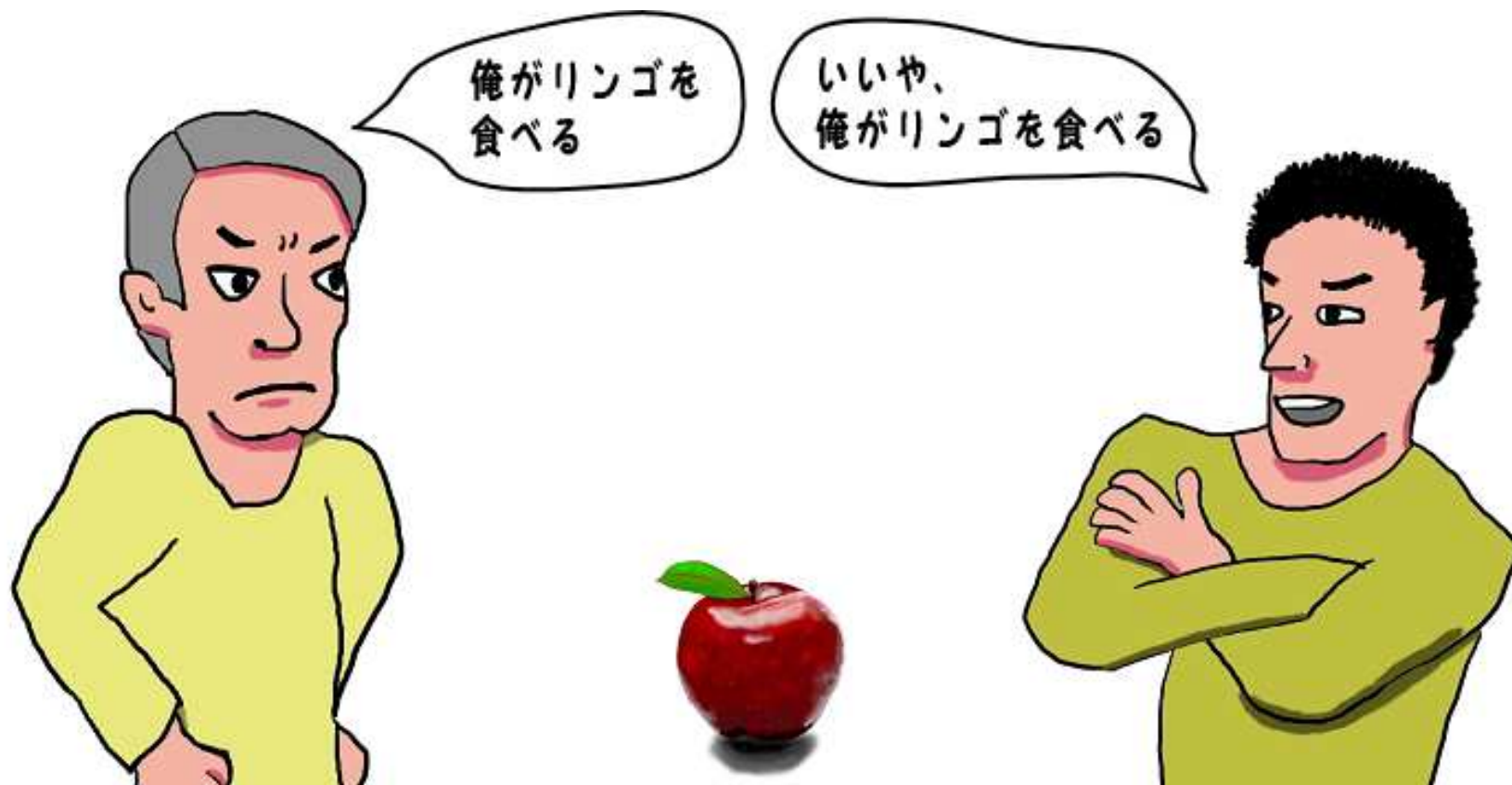
そして二人はリンゴを仲良く分け合いました。



二人とも大満足です。

公正の文化

一方で世界には、人と人との対立を認めた上で、公正を善しとする文化もあります。そこでは率直で正直な自己主張が尊ばれます。対立を避けるのではなく、相手を騙さずフェアに競争するということです。さあ、そんな文化圏にいる二人は、どんな行動を取るでしょう？





二人とも自分がリンゴを食べるために、議論を尽くします。・・・結論ができません。



そして二人は取り決めに従って、リンゴを分け合いました。

俺たちの競争は、なんて正直で率直だったことだろう！

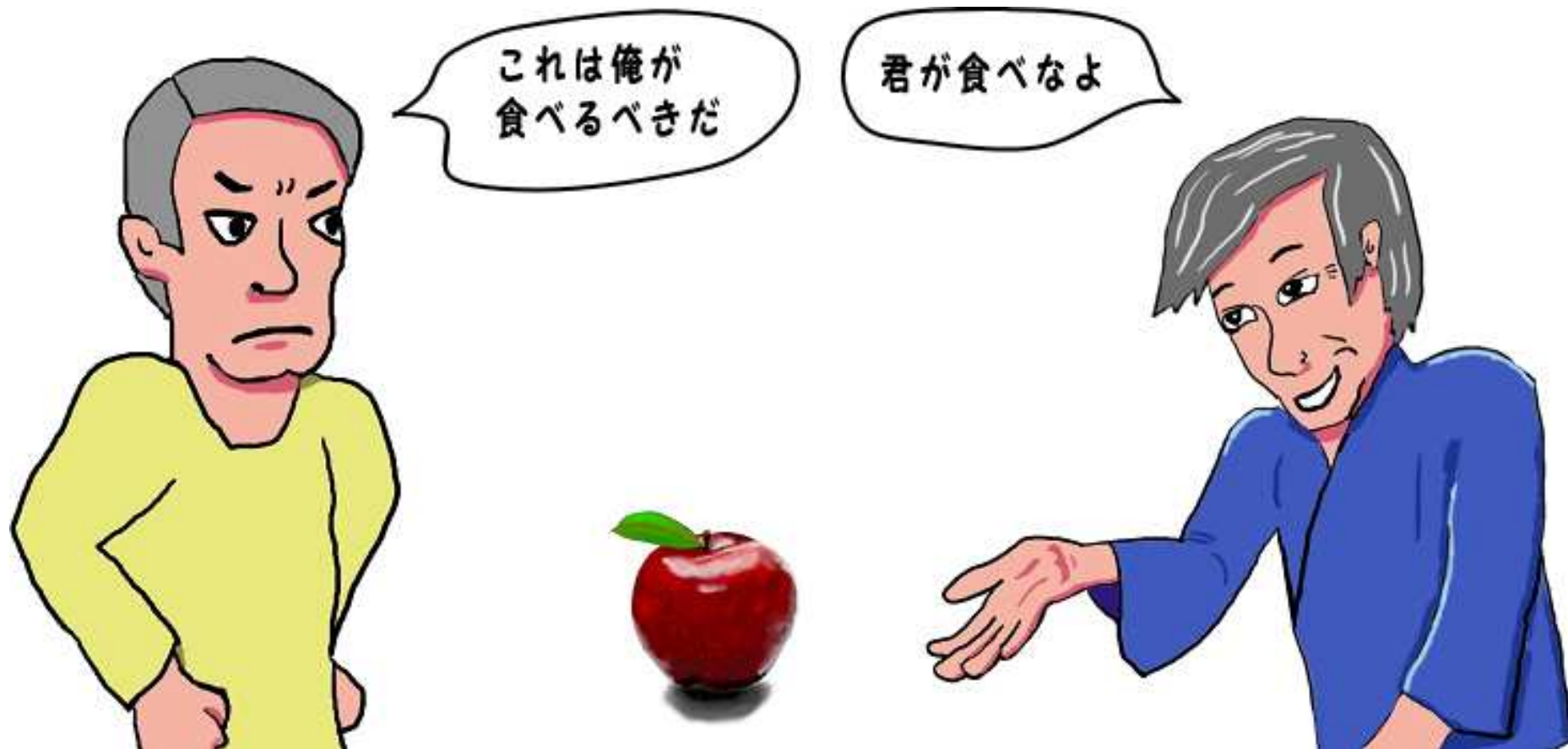
俺たちの戦いは、なんてフェアだったことだろう！



二人とも大満足です。

愛の文化と公正の文化

ではそれぞれが別の文化圏の人だったら、どうでしょう？ 二人とも空腹で、相手が空腹なことも知っているとして。



公正の文化の人が食べました。



オレンジが1つあります。

これは俺が
食べるべきだ

君、食べる？



公正の文化の人が食べました。



バナナが1本あります。

俺が食べる。
まだお腹が空いているからね

...



公正の文化の人が食べました。



スイカがあります。


これも貰うよ。
明日になれば、お腹が空くから



いいかげんにしろ！
このままじゃ俺は
飢え死にする！

おまえはなんて、
我ままで利己的なんだ！





なんだと？
食べると言ったのは
おまえじゃないか！

おまえには正直さも
率直さも無いのか？
この、嘘つきめ！

さあ、二人の間には、ひどい誤解が生まれてしまいました。ではその後、どうなるのでしょうか？

- もし彼らが誤解の原因を追究し、互いの文化を理解すれば、全ては笑い話となるでしょう。彼らの視野は大いに広がり、争いが深刻化することはありません。



- ではもし彼らが誤解の原因を追究せず、代わりに互いを善悪で裁き、悪と戦うことを選択したら？



あとがき —絵本「リンゴ異文化騒動記」

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2011